



学校・図書館・病院
福祉施設・ターミナル



<施設の概要>

所在地：福岡市中央区地行浜二丁目1-18
 建築面積：4,420.12㎡
 延床面積：12,373.92㎡
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
 規模：地下1階地上7階
 設計・監理：(株)山下設計九州支社
 施工：電気/秀電・長井・藤栄建設工事共同企業体
 竣工：平成15年2月

間接照明やダウンライト、拡散カバー付き器具により、やわらかい雰囲気演出。 各種センサー制御による人にやさしい省エネ照明

■保健・福祉・教育を統合した子供のための施設

こども総合相談センターえがお館は、0歳から20歳の子供の問題に総合的に対応するため、保健、福祉、教育部門を統合して開設された施設です。建物は、都会的なビル形状にならないように配慮され、子供たちの心に灯を点す灯台をテーマに導入部分をシンボルタワー化し、地域のランドマークとして親しみのある外観を心がけています。また、内部では閉鎖的になりがちなか廊下にアルコーブや吹き抜けを設けて変化をつけています。

照明設備は、こうした建築意匠に合わせて計画され、有害なグレアがない間接照明やダウンライト、拡散カバー付き器具の採用により、まぶしさ感のない、やわらかい雰囲気演出しています。特に子どもたちの滞在エリアには家庭的な雰囲気を感じさせる、色温度の低いコンパクト型蛍光灯の電球色を採用し、一般の家庭にいる状態に近付ける演出が行なわれています。

また、地球環境に配慮し、屋内運動場およびホールの高天井部分にはインバータ点灯方式のHIDダウンライト器具(昇降装置内蔵)を採用。一般照明でも高効率・高演色のHf蛍光ランプ等を積極的に採用しているほか、あかりセンサーによる窓際調光制御、適正照度制御、人感センサーによる点滅制御等により、省エネルギー化を図ると同時に人にやさしい照明になっています。なお、照明集中監視装置の導入により保守管理の容易化が図られています。

■照明コンセプト

Lighting design concept

- 光源の光色の的確な使い分けによる良好な視環境、雰囲気演出
- 各種センサー利用による省エネで人にやさしい照明



エントランスホールの照明：高周波点灯方式のHIDダウンライトが採用されたエントランスホール



図書室の照明



視聴覚室の照明：拡散カバー付の照明器具と間接照明により明るくグレアの少ない照明設備



廊下の照明：間接照明により柔らかい雰囲気の廊下

■主要照明器具一覧表

器具名	形名	台数	ランプ
ダウンライト	DD-25100K-PS27	8	250Wメタルハライドランプ
間接トラフ	FHT-31009-PR17	133	32Wコンパクト形Hf蛍光ランプ
埋込器具	FR-33784K-PS17	37	36Wコンパクト形蛍光ランプ×3
埋込器具	FHR-42890XN-PD17	77	32WHf蛍光ランプ×2